



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 中野 伍朗 TEL 03-3466-2171
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,767	25.7	1,072	99.5	1,035	89.5	610	79.8
25年3月期第3四半期	6,181	△ 6.8	537	0.0	546	7.1	339	13.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 612 百万円(72.5 %) 25年3月期第3四半期 355 百万円(13.8 %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	61.37	—
25年3月期第3四半期	34.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,533	4,338	37.6
25年3月期	10,680	3,776	35.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,338 百万円 25年3月期 3,776 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,860	21.7	1,300	107.2	1,240	99.0	700	81.9	70.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期 3Q	10,120,000 株	25年3月期	10,120,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期 3Q	170,816 株	25年3月期	169,083 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期 3Q	9,949,848 株	25年3月期 3Q	9,951,837 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3ページ

「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第3四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府の財政出動や日銀の金融緩和などの経済政策により円安と株高が進行し企業収益の改善がみられたことや設備投資が持ち直してきているなど、加えて個人消費では雇用・所得環境改善や消費税増税前の駆け込み需要増など、全体として景気回復に向けた明るい兆しが見られようになりました。一方、円安や原油高の影響からの原材料価格、エネルギー価格の高騰および消費税増税による需要減退の懸念など、依然として予断を許さない状況にあります。

このような状況のもとで当社グループといたしましては、新事業の展開、付加価値の高い製品の企画・開発、生産性の向上、金融収支の改善などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は77億6千7百万円（前年同期比25.7%増）、営業利益10億7千2百万円（前年同期比99.5%増）、経常利益10億3千5百万円（前年同期比89.5%増）、四半期純利益6億1千万円（前年同期比79.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

消防・防災事業では、第2四半期に引き続き発電所向け注水ポンプ車および積載ホースなどの緊急調達により販売が増加し売上高は41億2千1百万円（前年同期比31.7%増）、セグメント利益（営業利益）は4億8千1百万円（前年同期比203.0%増）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、P-1などの大型機及び実証機用部品、F-7エンジン部品の販売が増加したことや、工業用品部門のタンクシール、海外発電所向けの絶縁ホース販売が増加しました。

その結果、航空・宇宙、工業用品事業の売上高は32億8千9百万円（前年同期比21.6%増）、セグメント利益（営業利益）は6億6千4百万円（前年同期比57.6%増）となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業は、売上高は3億5千6百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1億8百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間における流動資産は79億1千3百万円（前連結会計年度末比8億6千6百万円増）となりました。主として、期首より堅調な売上とその売上債権回収により現金及び預金が増加したことによるものです。また、固定資産は36億1千9百万円（前連結会計年度末比1千3百万円減）となりました。主として、減価償却による減少が固定資産取得による増加を上回ったことによるものです。

この結果、資産合計は115億3千3百万円（前連結会計年度末比8億5千3百万円増）となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間における流動負債は47億6千7百万円（前連結会計年度末比8千5百万円減）となりました。主として、未払法人税等が増加しましたが、支払手形及び買掛金の減少と1年内償還予定の社債が減少したことによるものです。また、固定負債は24億2千6百万円（前連結会計年度末比3億7千6百万円増）となりました。主として、社債及び長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は71億9千4百万円（前連結会計年度末比2億9千万円増）となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産は43億3千8百万円（前連結会計年度末比5億6千2百万円増）となりました。主として、四半期純利益6億1千万円による増加と剰余金の処分4千9百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が想定した範囲内で推移しており、現時点において平成25年11月6日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

売上高に含まれる不動産賃貸収益に対応する賃貸費用については、従来、販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上原価として計上する方法に変更しております。この変更は、賃貸不動産数の増加に伴い不動産賃貸事業の経営管理方法の見直しを進めた結果、段階損益の明瞭性を図るため実施したものであります。

当該変更により、前年四半期については組替え後の四半期連結財務諸表となっております。

なお、組替え前と比較して、前第3四半期連結累計期間の売上原価は189,698千円増加し、売上総利益ならびに販売費及び一般管理費はそれぞれ同額減少いたしました。営業利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,809,852	2,468,925
受取手形及び売掛金	3,014,916	3,137,245
商品及び製品	97,986	232,592
半製品	456,987	350,480
仕掛品	1,046,563	1,123,072
原材料及び貯蔵品	412,787	480,804
その他	230,567	135,125
貸倒引当金	△22,062	△14,506
流動資産合計	7,047,599	7,913,742
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,785,372	1,759,569
土地	1,304,211	1,304,211
その他（純額）	169,697	166,856
有形固定資産合計	3,259,281	3,230,637
無形固定資産	27,043	28,611
投資その他の資産		
投資有価証券	239,126	243,177
その他	107,849	117,522
貸倒引当金	△489	△268
投資その他の資産合計	346,486	360,431
固定資産合計	3,632,810	3,619,680
資産合計	10,680,410	11,533,422

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,378,440	1,272,066
短期借入金	1,310,000	1,440,000
1年内償還予定の社債	264,000	47,000
1年内返済予定の長期借入金	997,767	958,499
未払法人税等	12,398	313,933
賞与引当金	233,033	108,880
役員賞与引当金	52,000	39,006
その他	605,837	588,315
流動負債合計	4,853,476	4,767,701
固定負債		
社債	136,000	320,000
長期借入金	1,040,482	1,242,785
退職給付引当金	302,520	255,738
役員退職慰労引当金	163,895	178,622
年金資産消失損失引当金	175,163	175,163
資産除去債務	10,470	10,651
その他	221,881	243,894
固定負債合計	2,050,413	2,426,855
負債合計	6,903,889	7,194,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	2,976,395	3,537,293
自己株式	△45,987	△46,505
株主資本合計	3,721,837	4,282,218
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	54,682	56,648
その他の包括利益累計額合計	54,682	56,648
純資産合計	3,776,520	4,338,866
負債純資産合計	10,680,410	11,533,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,181,784	7,767,711
売上原価	4,549,186	5,502,903
売上総利益	1,632,597	2,264,807
販売費及び一般管理費	1,094,938	1,192,357
営業利益	537,659	1,072,450
営業外収益		
受取利息	129	123
受取配当金	5,274	5,686
受取地代家賃	7,217	7,693
貸倒引当金戻入額	35,163	7,563
その他	22,422	11,801
営業外収益合計	70,207	32,868
営業外費用		
支払利息	43,598	44,920
社債利息	4,094	3,032
社債発行費	—	6,119
その他	13,657	15,609
営業外費用合計	61,349	69,682
経常利益	546,516	1,035,636
特別損失		
固定資産除却損	—	220
特別損失合計	—	220
税金等調整前四半期純利益	546,516	1,035,415
法人税、住民税及び事業税	107,115	375,567
法人税等調整額	99,776	49,194
法人税等合計	206,891	424,762
少数株主損益調整前四半期純利益	339,625	610,652
四半期純利益	339,625	610,652

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	339,625	610,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,214	1,965
繰延ヘッジ損益	1,381	—
その他の包括利益合計	15,595	1,965
四半期包括利益	355,221	612,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355,221	612,618
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,128,711	2,706,052	347,020	6,181,784	—	6,181,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	6,840	6,840	△6,840	—
計	3,128,711	2,706,052	353,860	6,188,624	△6,840	6,181,784
セグメント利益	158,842	421,287	132,658	712,788	△175,129	537,659

(注) 1 セグメント利益の調整額△175,129千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品 事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,121,548	3,289,347	356,815	7,767,711	—	7,767,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5,580	5,580	△5,580	—
計	4,121,548	3,289,347	362,395	7,773,291	△5,580	7,767,711
セグメント利益	481,247	664,070	108,781	1,254,099	△181,649	1,072,450

(注) 1 セグメント利益の調整額△181,649千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。